



# BUSINESS REPORT

第50期通期事業報告書

2023年7月1日～2024年6月30日



Business Report 2024  
第50期通期事業報告書

経営理念

Management Philosophy

私達は、チェーンレストラン事業を通じ、顧客・株主・従業員・取引先・社会の、精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

ジョイフル 店員の誓い

Our Promise

私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

連結業績ハイライト

Consolidated Results

(単位: 百万円)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第50期（2024年6月期）の通期事業報告書を作成いたしましたので、ご覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による社会活動の制限が緩和され、緩やかな回復の兆しがみられる状況となりましたが、エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の進行、中国経済の減速懸念、ウクライナ情勢の長期化など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界においても、同様に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行し、需要回復が続いておりますが、エネルギー価格や人件費、原材料価格の高騰など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは今後の中長期的な成長戦略を実現するため、既存のイートイン事業はもちろんのこと、テイクアウトやデリバリー販売、量販店や通販サイトを通じた販売を強化、社員独立フランチャイズ店舗の拡大など、子会社を含めたグループ全体のパフォーマンス向上に取り組んでまいりました。

商品施策では、既存商品のブラッシュアップを継続して提供品質の向上を進めると同時に、試験販売を繰り返してお客様の消費動向を慎重に分析した上で、グランドメニューの改定を2回、「創業祭～創立48周年～」「夏めしまつり」などのフェアを6回行いました。

グランドメニューの改定では、「蒸し鶏のゴマだれサラダと釜揚げしらす丼」など和のテイストを中心としたヘルシーメニューや「大分名物だんご汁定食」など大分県発祥のジョイフルならではの九州名物メニューなどを新たに加えました。また「デミグラスハンバーグ&有頭えびフライ」「京都宇治抹茶パウムクーヘンとわらび餅の黒蜜がけ」などバリエーション豊かな新メニューをラインアップしライトミールや定食、デザートなど多くの新メニューをリニューアルしました。創業祭では「どど〜ん!と大きなミックスグリル」「ごろごろチキンの罪深き南蛮丼」などお腹いっぱいのおもてなしをテーマとして、お客様への日頃の感謝の気持ちを込めた商品を揃えました。さらに、人気TVアニメ「キングダム」とのコラボレーションを2回にわたり行い、「信の天下統一大將軍 グリルコンボ」「王騎大將軍 秦の怪鳥グリル中華ソース」などの商品を販売しました。また、6月からはPEANUTSとの「スヌーピーのアメリカンハンバーグ」をはじめとしたコラボレ

ションメニューを販売しました。

営業施策では、重点的な取り組みとして、料理のクオリティ維持・向上を目的に作業チェックシートを見直してひとつひとつの作業の徹底を行い、良い品質で、見た目にもきれいで、鮮度の良いおいしい料理を安定的に提供できるように努めてまいりました。

また、販売促進として、「ジョイフル宣伝部長」に就任した秋山竜次さん（ロバート）とコラボレーションしたTVCM第3弾「2024年春&夏 新グランドメニュー篇」やPEANUTSとコラボレーションCMを放映しました。さらに一般のお客様やマスコミを対象とした「春の新商品試食会&福岡工場見学ツアー」と題した体験イベントを開催し、世界にひとつだけのオリジナルパフェ作りや、製造・配送の様子を見ることができるといった工場見学を行いました。また、便利でお得なスマートフォン専用無料アプリ「ジョイフル公式アプリ」の5周年リニューアルを行い、「キッズメニュー半額クーポン」をお盆や年末、春休みの時期にあわせて配布するなど、更なる充実を行いました。さらに、DX投資の一環として店内QRオーダーシステムをジョイフル全店に導入しました。

当連結会計年度における店舗数は、グループ直営5店舗の出店、グループ直営からフランチャイズへの転換92店舗、グループ直営2店舗及びFC1店舗の退店により656店舗（グループ直営515店舗、FC141店舗）となりました。

以上の取り組みを行った結果、当連結会計年度における経営成績は、売上高は65,957百万円（前期比11.6%増）、営業利益は3,936百万円（前期比127.1%増）、経常利益は3,910百万円（前期比114.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,319百万円（前期比106.1%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

穴見くるみ



※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付とは異なります）

## 2024年6月期 主な取り組み

### TVアニメ「刀剣乱舞 廻ー虚伝 燃ゆる本能寺ー」×ジョイフル デジタルキャンペーンの実施

ジョイフルでは、グランドメニュー改定効果の最大化と新規層の獲得を目的として、TVアニメ「刀剣乱舞 廻ー虚伝 燃ゆる本能寺ー」とのコラボキャンペーンを2024年4月16日～6月11日に実施いたしました。

本キャンペーンは公式アプリ・SNSを使用したデジタルコンテンツになります。デジタルツールを使用することでエリア・性別・年齢を問わず、お客様との関係性の強化が図られ、来店に結びつけることができました。

また、情報解禁時には「X」でも大きな話題となりました。今後も、キャラクター等を中心としたコラボレーション企画を行い、常に新しい視点からの顧客獲得や商品・サービスの提供に努めます。



©2024 NITRO PLUS・EXNOA LLC/「刀剣乱舞 廻」製作委員会

### QRセルフオーダーシステムのジョイフル全店舗への導入

ジョイフルでは、店内でのご注文の際に店員が対応することなく、お客様ご自身がお好きなタイミングでスマートフォンからQRコードを読み込み、注文ができるシステムの、全店への導入が、2024年4月に完了しました。

本システムの導入によって、「待ち時間の減少」など、お客様の利便性を向上させてまいります。

今後も、デジタル技術の導入・活用することで店舗運営の効率化を行い、お客様の満足度向上につなげてまいります。



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

### 社員独立フランチャイズ制度の広がり

ジョイフルでは勤務する社員の新たな働き方の一つとして、自身が積み重ねた店舗経営ノウハウを活かして、希望地域で加盟店代表者として独立することができる社員独立フランチャイズ制度を2022年8月より開始いたしました。2024年1月1日現在で、97名（97店舗）が加盟店代表者として独立・開業しております。

社員独立フランチャイズ制度を実施することで、加盟店代表者からロイヤリティが支払われ、本部の安定的な経営が実現できるとともに、加盟店代表者は今までの店舗経営を活かしつつ、転勤のない希望地域で開業することが可能となります。また、もともと営業している店舗を使って開業を行うことで、精度の高い事業計画と本部からの全面バックアップのもとに営業に注力することができます。

今後約6年で当社店舗の約70%のフランチャイズ化を目指し、『店舗・本部の収益アップ＝加盟店代表者の収入アップ』を達成するという、新たな働き方の実現を進めてまいります。

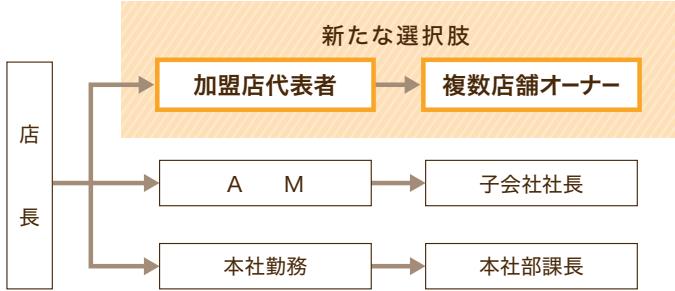


#### フランチャイズシステムとは

フランチャイズとは、フランチャイズに加盟する人（加盟店代表者）がフランチャイズ本部（ジョイフル）から店舗・サービス・商品などを使う権利を得て、店舗の経営・運営を行うものです。

- 加盟店代表者と本部がビジネスパートナーとして一体となり、共同で収益を上げることで、双方に利益がある関係を築きます。
- 加盟店代表者は本部の全面バックアップを受け、収益向上に専念できることで収益の一部をロイヤリティとして本部に支払っていただくビジネスモデルとなります。

#### ■社員の働き方イメージ





※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付けとは異なります）

## 2025年6月期 上期の主な取り組み

### 多様化する「顧客」と「消費」～さまざまな施策を行いお客様との接点を生み出します

ジョイフルでは、多様化するお客様および消費者ニーズに対して、さまざまな施策を講じて、お客様とのタッチポイントを創出しています。

タレントの秋山竜次さんが「ジョイフル宣伝部長」として展開するプロモーションの継続・強化をはじめ、2024年7月12日～15日には、関東圏での認知拡大を目的としたPOP UPストアを、渋谷PARCOで展開し、多くのお客様にご来店いただきました。

また、ECや小売店で販路拡大中の冷凍商品ブランド「おうちdeジョイフル」におきましては、新商品として「ジョイフルの牛焼肉丼の具」を発売しました。

そして、2024年6月25日～9月24日には、「PEANUTS」とのコラボによるキャラクターメニューの販売を行い、可愛いコラボメニューは大きな反響をいただき、大ヒットメニューとなりました。

今後も、ジョイフルの魅力を多くのお客様に訴求できるようにお客様との接点を探り、ニーズに応えることができるように邁進してまいります。



©2024 Peanuts Worldwide LLC  
www.snoopy.co.jp



### 「福岡工場と配送センター」の見学と新商品試食会を実施

福岡県築上町にある「福岡工場・配送センター」で、ハンバーグやソースなどの製造・配送の様子の見学、オリジナルパフェ作り、一足早い新商品試食など体験型イベントを実施しています。親子コミュニケーションの創出や企業価値を高めることにつなげてまいります。



### SDGsへの取り組み

ジョイフルでは、持続可能な社会の実現への取り組みとして、大分市のフードバンク事業者「フードバンク東九州」様へ、従業員が家庭から持ち寄った食材を寄付いたしました。寄付した食



材は、必要とされている方や福祉施設に無償で提供されます。その他に、働きやすい職場環境づくりを推進することで、モチベーションの向上、労働生産性の向上、組織の活性化に繋がると考え、2020年から健康経営実施における目標を定め、「健康増進、生活習慣病予防対策」「メンタルヘルス対策」などを進めた結果、2021年3月より毎年「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されております。

また、2018年に認定された「くるみん」は、子育てサポート企業としての実績が認められ、毎年認定交付をされております。継続して実施しているプラスチック製ストローの提供廃止、バイオマス材料を配合したテイクアウト用袋の導入などのサービスや事業活動を通じて、今後も環境保全と社会の発展のため、取り組みを進めてまいります。



### 子ども食堂事業と子ども支援活動への取り組み

ジョイフルでは、社会貢献活動の一環として子ども食堂事業への協力を行っております。子ども達に提供される食事に対して食材の提供を行うことによりフードロスの削減に努めるとともに、人と人との関わりが希薄になっている現在の社会において、未来を担う子ども達に対して、地域の方々との共食の機会を提供することにより、豊かな人格育成、新たな地域コミュニティの構築などに取り組んでいます。

その一環として、2024年1月21日には、一般財団法人・大分県母子寡婦福祉連合会の会員の方「57名」を招待したお食事会を行いました。親子のコミュニケーションを図ることができ、地域の方々ともに笑顔に満ち溢れた温かい場となりました。



### 新店オープン 〈海外〉 ■台湾ジョイフル 台南新営店 (2024年7月3日) ※( )内の日付はオープン日です。

## 連結財務諸表

### Point

#### 資産の部

当連結会計年度末の総資産は30,422百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,314百万円の増加となりました。これは主に、有価証券の増加1,050百万円、現金及び預金の増加221百万円、売掛金の増加211百万円、繰延税金資産の減少194百万円、工具、器具及び備品の増加144百万円、機械装置及び運搬具の減少126百万円によるものであります。

### Point

#### 純資産の部

当連結会計年度末における純資産は10,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,053百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加3,010百万円によるものであります。

### Point

#### 営業利益・経常利益

エネルギー価格や原材料価格が高騰した影響を受ける一方、売上が増加したことにより、前期比127.1%増加の3,936百万円の利益となりました。経常利益は営業利益が増加したことにより、3,910百万円の利益となりました。

### 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	5,580	7,006
固定資産	23,527	23,416
有形固定資産	18,848	19,010
無形固定資産	362	362
投資その他の資産	4,316	4,043
資産合計	29,107	30,422
<b>負債の部</b>		
流動負債	9,356	10,079
固定負債	12,376	9,915
負債合計	21,733	19,994
<b>純資産の部</b>		
株主資本	7,182	10,214
資本金	100	100
資本剰余金	4,248	4,237
利益剰余金	4,406	7,417
自己株式	△ 1,573	△ 1,540
その他の包括利益累計額	124	128
純資産合計	7,374	10,427
負債純資産合計	29,107	30,422

### 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 自 2022年7月1日 至 2023年6月30日	当連結会計年度 自 2023年7月1日 至 2024年6月30日
売上高	59,097	65,957
売上原価	19,872	22,068
売上総利益	39,225	43,889
販売費及び一般管理費	37,492	39,953
営業利益又は営業損失(△)	1,733	3,936
営業外収益合計	317	200
営業外費用合計	227	225
経常利益	1,822	3,910
特別損失	196	246
減損損失	196	246
法人税等	78	363
法人税、住民税及び事業税	116	157
法人税等調整額	△ 38	205
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	1,610	3,319

※金額は百万円未満を切捨表示しております。

### Point

#### 負債の部

当連結会計年度末の負債合計は19,994百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,738百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少2,477百万円、未払金の増加609百万円、未払費用の増加131百万円、1年以内返済予定の長期借入金の減少121百万円、退職給付に係る負債の減少96百万円によるものであります。

### Point

#### 売上高

多様化する消費者ニーズに対応した商品施策の推進や、「お客様に繰り返しご利用いただける店作り」の観点から営業状態の向上に取り組んだ結果、前期比11.6%増加の65,957百万円となりました。

### Point

#### 親会社株主に帰属する当期純利益

減損損失による特別損失が発生したことにより、3,319百万円の利益となりました。

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 自 2022年7月1日 至 2023年6月30日	当連結会計年度 自 2023年7月1日 至 2024年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,625	6,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,302	△ 1,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,526	△ 3,024
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,196	1,271
現金及び現金同等物の期首残高	3,401	2,204
現金及び現金同等物の期末残高	2,204	3,476

### Point

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは前期比2,541百万円増加して6,166百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、税金等調整前当期純利益3,693百万円、減価償却費1,726百万円、棚卸資産の増減額149百万円、未払金の増減額655百万円であります。

### Point

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは前期比592百万円減少して△1,894百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出△1,950百万円、敷金及び保証金の差入による支出△36百万円、敷金及び保証金の回収による収入54百万円であります。

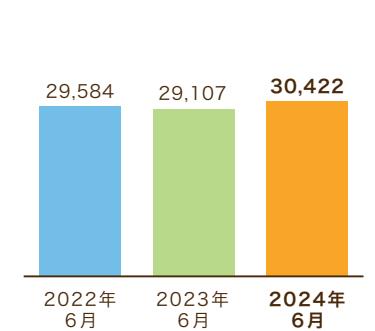
### Point

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは前期比501百万円増加して△3,024百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、長期借入れによる収入3,900百万円、長期借入金の返済による支出△6,498百万円、配当金の支払額△305百万円であります。

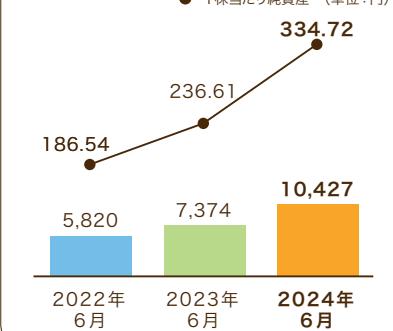
### 総資産

(単位：百万円)



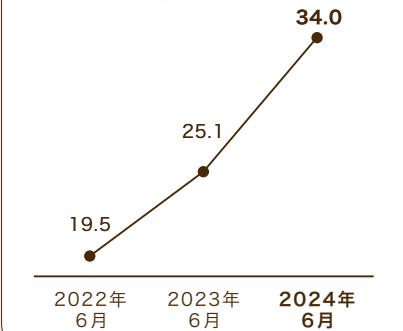
### 純資産

□ 純資産 (単位：百万円)  
● 1株当たり純資産 (単位：円)



### 自己資本比率

(単位：%)



株式の状況

発行可能株式総数  
**120,000,000株**

発行済株式総数  
**31,931,900株**

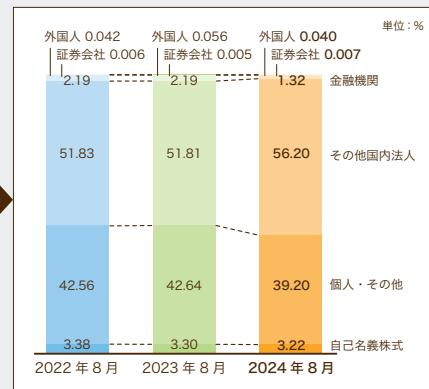
株主数  
**16,826名**

株式の所有者別状況

	2022年8月31日現在		2023年8月31日現在		2024年8月31日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	7	2,050	9	1,867	9	2,405
外国人	18	13,700	20	18,079	20	13,000
金融機関	5	698,286	5	697,786	3	421,914
その他国内法人	94	16,548,710	87	16,545,210	91	17,946,464
個人・その他	15,425	13,589,872	15,518	13,616,476	16,702	12,517,329
自己名義株式	1	1,079,282	1	1,052,482	1	1,030,788
合計	15,550	31,931,900	15,640	31,931,900	16,826	31,931,900

※基準日時点の株主名簿に基づき記載しております。

株式の所有者別構成比率の推移



株主メモ

**事業年度** 毎年7月1日から6月30日  
**定時株主総会** 毎年11月  
**基準日** 定時株主総会の議決権/毎年8月31日  
 期末配当金/毎年8月31日  
 中間配当金/毎年2月末(中間配当を実施する場合)  
**単元株式数** 100株  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)  
**特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)  
**郵便物送付先** 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部  
**(電話照会先)** TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は、三井住友信託銀行(株)の本店および全国各地支店で行っております。

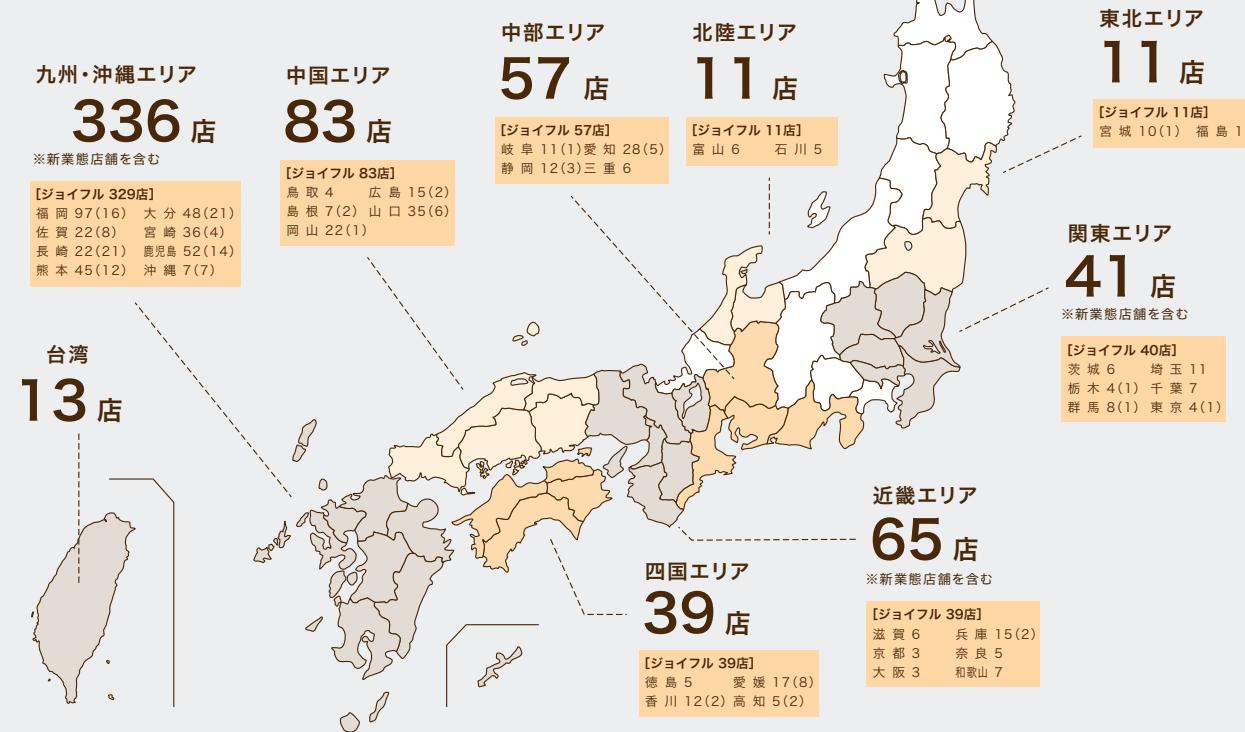
**公告の方法** 電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
**公告掲載URL** <http://www.joyfull.co.jp/>  
**上場取引所** 福岡証券取引所

◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について  
 株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申し出ください。

◎株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ  
 お取引の証券会社または三井住友信託銀行(株)へお問い合わせ願います。  
 専用コールセンター 0120-533-600 受付時間: 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日および12/31 ~ 1/3を除く)

グループ店舗一覧  
(2024年6月末現在)

**656店**  
 うちFC店舗141店舗 ※( )内はFC店舗  
 ※新業態・台湾含む



会社概要 (2024年6月30日現在)

<b>創業</b> 1965年6月	<b>資本金</b> 1億円	<b>連結子会社</b> 株式会社ジョイフル北日本/株式会社ジョイフル東海/株式会社ジョイフル関西/株式会社ジョイフル中国/株式会社ジョイフル四国/株式会社ジョイフル北九州/株式会社ジョイフル中九州/株式会社ジョイフル東九州/株式会社ジョイフル西九州/株式会社ジョイフル南九州/株式会社フレンドリー/台湾珍有福餐飲股份有限公司/株式会社ジョイフルサービス/株式会社ジョイナス/株式会社ジョイフル商事
<b>創立</b> 1976年5月	<b>主な事業内容</b> 「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開	
<b>社名</b> 株式会社ジョイフル		
<b>大分本社</b> 大分県大分市三川新町1丁目1番45号		
<b>福岡工場・配送センター</b> 福岡県築上郡築上町日奈古186番1号		
<b>熊本工場・配送センター</b> 熊本県菊池市架梁尾字下大迫445番4号		
<b>愛知工場</b> 愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号		